



# 駒岡小学校だより

1月号

## 「謹賀新年」

校長 松本 稔

新年おめでとうございます。昨年中は数多くのご理解とご協力をいただきありがとうございました。本年も引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

昨年度は運動会をはじめ様々な行事が天候に左右されましたが、今年度の1, 2学期の様々な行事は天候に恵まれ、予定通り行うことができました。

ご多分に漏れず、伝統的な駒岡小学校の行事「ふれあい餅つき大会」も、12月15日にインフルエンザの流行もなく、少々冷え込みましたが、予定通りに無事行われました。



PTA、後援会、ボランティア、駒っ子クラブ（お父さんの会）等、皆様との連携により、非常に円滑に進めることができたように感じられます。感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

PTA主催として希望者参加体制で行うようになって4年目、児童の登校からお餅をついて食べるまでの流れが益々円滑に進めることができるようになったようです。今後は、地域ごとの参加人数により、運営方法の微調整は必要かと思いますが、駒岡小学校の伝統的な行事として「餅つき大会」が今後も継承されていくことと確信いたしました。学校として今後も、地域、保護者との連携事業として精一杯の協力をさせていただきたいと考えています。

餅つき大会に必要な用具や資材の準備や保管、各部署のノウハウについても、しっかりと継承していかなければなりません。文章で残せる内容も多くありますが、餅つき大会当日に、現場で人から人へ受け継がれる場面も多くありました。特に、餅つきの「つき手」や「返し手」が後援会のベテランの方々から駒っ子クラブ（お父さんの会）へ受け継がれているのが、代表的なことのひとつです。

駒岡小学校の餅つき大会の歴史は40年を超えています。当然こうした世代交代を繰り返して、つきたてのお餅を食べる子ども達の笑顔のために引き継がれていくことと思います。今後も学校としても連携を深めながらこの伝統的な行事のために力を注いでいきたいと思っています。

ありがとうございました。

毎年、餅つき大会で作っていただいた鏡餅に、鶴見区自治連合会長の小山 和雄様が飾りを付けていただいています。今年度も、職員玄関を含め昇降口の3箇所に供えます。スーパーマーケットで売られているプラスチックで成形された鏡餅に見慣れているこの時代、貴重なものに触れる良い機会ではないでしょうか。

駒岡小学校の欠かせない伝統的に継承されているものの一つです。

ありがとうございました。



### 『みんなの駒小』アンケートについて

11月下旬に集めさせていただいた保護者向けの「こんな駒岡小学校であってほしい」アンケート『みんなの駒小』にご協力いただき、ありがとうございました。

- ・今年も寄せられたアンケートには、とても貴重なご意見がたくさんありました。主な項目として、
- ・日々の教職員の指導の「差」「違い」について・登校班、集団登校に関するご意見
- ・不審者情報の配信について・児童の水筒持参について・子ども達の挨拶について
- ・下校の仕方や下校後の遊び方について・アンケートの答え方について・3学期制のよさについて
- ・地域や後援会との連携のよさについて・餅つき大会のお餅の大きさについて 等々

貴重なご意見をありがとうございます。子ども達の安心安全で充実した教育活動のために参考にさせていただきます。様々な角度からのご意見なので一概にすぐにお答えをお出しできないものも多いため、学校説明会などで、アンケートに関する学校からのメッセージを発信させていただきます。どうか宜しくお願いいたします。